

地域とともに歩む学校として

横浜市で初めてのコミュニティスクールとして開校した東山田中学校では、地域ぐるみで中学生のキャリア教育に関する支援を行ってきました。

学ぶこと、働くこと、生きることは全部つながっているということを伝えるために、子どもたちの将来につながる学びをサポートしています。

平成21年度からは学校支援地域本部事業がスタートし、地域コーディネーターが学校と地域をつなぐ取り組みを行っています。

これからも小中学校、家庭、地域のボランティアや事業所が手を取り合って、5年後、10年後の社会人を育てていきます。

大人にとっての学校支援

市民が学校へ関心を持つこと

横浜市立東山田中学校 学校運営協議会 会長
玉川大学教職大学院教授 小松 郁 夫

学校や病院などは私たちの社会が日常生活から遠ざけて、専門の職員に任せってしまった場所といわれます。確かに専門家に任せると、水準の高い教育や医療が保証されるでしょう。でも、それによって失ったことも多いような気がします。

我が子やその友達がどのように育っているのか、どのように育ってほしいのかを、とまどいながらも一緒に関わることで、大人も成長していくのではないのでしょうか。「子育ては自分育ち」とも言われます。

また、とても一人一人の教師や保護者だけでは、今の社会の仕組みを子どもに伝えることは難しくなりました。いろいろな人がいて、いろいろな職業があること、社会の規範意識やマナーをきちんと伝えること、今まで大人たちが大切に守り育て、発展させてきたことを受け継いでもらうことなど、大人による学校支援にはいろいろな形があると思います。市民がそれぞれに自分のスタイルで学校に関わり、子どもたちといろいろな時間を共有することで、一緒に生活している地域社会がもっと豊かになることを体験してみたら、いかがでしょうか。